

パワーオプティマイザ

P505

パワーオプティマイザ



25年
保証

モジュールレベルでの太陽電池出力最適化

- ソーラーエッジパワーコンディショナと連携する特別設計
- 優れた効率 (99.5%)
- 設置スペースを最大限に活かすフレキシブルなシステム設計
- モジュールレベルモニタリングによる次世代型メンテナンス
- 最大25%の出力増
- 製造公差から部分影までモジュールのあらゆる mismatch ロスを解決
- ボルト一本で設置が迅速
- インストーラーおよび消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン

パワーオプティマイザ

P505

パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール)		P505 (高電流モジュール)	
入力			
定格直流入力電力 ⁽¹⁾		505	W
絶対最大入力電圧 (最低温度でのVoc)		83	Vdc
MPPT動作範囲		12.5 - 83	Vdc
連続最大短絡電流(Isc)		14	Adc
最大効率		99.5	%
実質効率		98.8	%
過電圧カテゴリー		II	
稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)			
最大出力電流		15	Adc
最大出力電圧		85	Vdc
非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)			
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧		1±0.1	Vdc
適合規格			
EMC		FCC Part15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3	
安全性		IEC62109-1 (クラスIIの安全性), UL1741	
RoHS		適合	
火災安全性		VDE-AR-E 2100-712:2013-05	
設置条件			
最大許容システム電圧		1000	Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)		129 x 162 X 59	mm
重量 (ケーブルを含む)		1064	g
入力コネクタ		MC4 ⁽²⁾	
入力ワイヤー長		0.16	m
出力コネクタ		MC4	
出力ワイヤー長		1.2	m
動作温度範囲		-40 - +85	°C
耐環境性能		IP68	
相対湿度		0 - 100	%

⁽¹⁾ STCでの定格出力がオプティマイザの“定格直流入力電力”を超えないこと。モジュールの+5%までの出力公差を許容。

⁽²⁾ 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ願います。

ソーラーエッジパワーコンディショナを 使用したPVシステム設計 ^{(5) (6)}		単相 HD-WAVE SE5500H-JP / SE5500H-JPJ	三相 SE25K-JP / SE50K-JP	三相 SE33.3K-JP / SE100K-JP	
最少ストリング長	P505	7	13		
最大ストリング長 (パワーオプティマイザ)		25	50		
ストリング毎の最大電力		5700	10050 ⁽³⁾	12750 ⁽⁴⁾	W
異なるストリング長と構成での入力接続			可		

⁽³⁾ SE25K-JP:ストリング直流電力は最大で12,500W可能ですが、各ストリング間の電力差が2,000W以下の場合に限りです。

⁽⁴⁾ SE33.3K-JP:ストリング直流電力は最大で15,000W可能ですが、3ストリング全てが接続され且つ各ストリング間の電力差が2,000W以下の場合に限りです。

⁽⁵⁾ 三相パワーコンディショナの最小DC容量(モジュール定格の合計)は11kWです。

⁽⁶⁾ P505はP600/P650/P730/P800H/P850と同ーストリングで使用することはできません。